4. トイレブース

(20.2.5)

表面材の材質	脚部		ドアエッジ	
	形状	材質	形状	材質
・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ ・支柱	・アルミニウム製 ※ステンレス製 ・	・標準 ・アール	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材

5. 階段滑り止め

(20.2.6)

材種	幅(mm)	取付工法	端部フラットエンド
※ステンレス製(SUS304)ビニルタイヤ入り ・	※約35	※接着構法 ・埋込工法	・あり(・ﾋﾞﾆﾙ製 ・ｽﾃﾝﾚｽ製) ・なし

6. 黒板及び
ホワイトボード

(20.2.8)

種類		寸法(mm)	色彩	形式	
・黒板	※ 焼付け		※緑 ・黒	・平面 ・曲面	・スクリーン付引分
・ホワイトボード	※ ほうろう		白	・平面 ・曲面	・スクリーン付引分

7. 鏡

厚さ5mm ステンレスフレーム付 (20.2.9)
寸法 ・図示

8. 表示

(20.2.10)

区分	材質	厚さ(mm)	寸法、取付高さ	備考
・室名札 ・ピクトグラフ ・とびら番号	※アクリル板 ・	※5 ・	※図示 ・	
・庁舎案内板 ・各階案内板	※アクリル板 ・	※5 ・	※図示 ・	
・衝突防止表示	※ステンレス製 ・図示	・市販品	・30φ ・図示	

案内用図記号についてはJIS Z 8201による
誘導標識、非常用進入口等表示は消防法に適合する市販品とする
色、書体、印刷の種別、取付け形式等は図示による

9. 煙突
ライニング

(20.2.11)
煙突用成形ライニング材
※適用安全使用温度 ・400℃ ・650℃
キャスタブル耐火材
工法 ・こて押え 最高使用温度 ・400℃

10. ブラインド

(20.2.12)

形式	操作方法	種類	スラットの材種	スラット幅	ボックス・レールの材質
※横型	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 G ・	※25 ・	※鋼製 ・
	・電動	——			
・縦型	・手動	・1本操作コード式 ※2本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	※ｱﾙﾐﾆｭｳﾑ合金製 ・
	・電動	——			

ポリエステル繊維又は植物を原料とした合成繊維を使用した製品を使用する場合は とする。

11. ロール
スクリーン
G

(20.2.13)

材種	操作方法	遮光性能	寸法(mm)	取付箇所	備考
・ポリエステル ・	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・1級 ・2級 ・3級	・建具表による	・建具表による	

12. カーテン及び
カーテンレール

(19.8.2)

形式		開閉操作	ひだの種類	きれの種別、品質 特殊加工	備考
・ｼﾝｸﾞﾙ ・ﾀﾞﾌﾞﾙ	・片引 ・引分	・電動 ・ひも引き ・手引き	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ		

ポリエステル繊維又は植物を原料とした合成繊維を使用した製品を使用する場合は とする。
カーテンレール
材質 ※アルミニュウム及びアルミニウム合金 ・ステンレス製 ・
形式 ・ｼﾝｸﾞﾙ ・ﾀﾞﾌﾞﾙ
・片引き ・引分け
形状 ・C型 ・D型 ・角型 ・ ・

13. ブラインドボックス
カーテンボックス

材質 ・集成材(仕上げ: WP:)
・アルミニュウム製 押出し形材(市販品)
表面処理 ・C-1
・C-2 (・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー)
被膜等の種類 ※標準仕様書14.2.1による
)
・鋼製(仕上げ:
溝幅×深さ(mm) ・90×150 ・120×80 120×150 150×180 ・図示

14. 点検口

形式	材種	寸法	形式		外枠	内枠
天井	※アルミニュウム製 ・	・450×450 ・600×600 ・	・一般型 ・屋内用 ・気密形	・屋内外用	・額縁タイプ ・目地タイプ	・額縁タイプ ・目地タイプ

ｱﾙﾐﾆｭｳﾑ合金押出形材は表14.2.1の被膜種類AA6(外部はB又は同等以上)をおこなったものとする。
内枠、外枠のコーナービース、及び吊り金物、取付ボルトは鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったものとする。
内枠の仕上げ材、留付金物はアルミニュウム合金押出型材、亜鉛めっき鋼板の類とする。

	材種	寸法	形式		備考
床	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600	・一般型 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用	・鍵付き

一般型:パッキンを装着しないもの及びがたつき防止用パッキンを装着したもの
密閉型:ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したもの。 施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする。
蓋の耐荷重性能:蓋中央部が耐荷重値Pn=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有効径の0.08%以内であること。破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること。

15. 鋼製書架
及び棚

	品質	主要構造部材の材種	形状、寸法(mm)	備考
・収納家具	・JIS S 1033 (ｵﾌｨｽ用収納家具による)	・鋼製 ・木製	・図示 ・	
・書架	・JIS S 1039 (書架・物品棚による)	・鋼製 ・	・図示 ・	JIS S 1039による種類 ・1種 ・2種 ・3種
・物品棚		・鋼製 ・	・図示 ・	JIS S 1039による種類 ・5種 ・6種 ・7種
・移動式 書架、物品棚		・図示 ・	・図示 ・	

移動書架(レール埋込式)
鋼製、メラミン樹脂焼付塗装 棚耐荷重 40Kg/枚以上
レール埋込、ハンドル式、耐震装置付

16. 視覚障碍者用
外部床ﾀｲﾙ

施工箇所		寸法(mm)	厚さ(mm)
	・磁器質タイル ・せっき質タイル	・300?300	・13+5
	・レジンコンクリート製 ・コンクリート製	・300?300	

19-2 断熱・防露・ユニット及びその他工事

17. 手すり

材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
・集成材	・クリヤラッカー	・35 ・45		
・ステンレスパイプ	・HL	・35		
・鋼製パイプ	・EP-G ・SOP			
・ビニール製ハンドレール				

形式 ・差込式 ・据置式 ・壁張り式
施工箇所 ・図示

18. 止水板

材質	クリアランス	耐火性能	備考
・アルミニウム製 ・ステンレス製	・50 ・100 ・150	・あり( ) ・なし	

外部は防水型とする

19. エキスパンション
ジョイント金物

材種	受け枠	備考
・塩化ビニルまたはゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製 ・	・ステンレス鋼(SUS304) ・硬質アルミニウム合金 ・	

20. くつふきマット

21. 流し台ユニット

材種	寸法(mm) W	D	H	備考
・流し台	・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
・吊戸棚	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品
・水切り	・1200 ・900 ・600	—	—	市販品 ステンレス製 ・1段式

品質・性能 JIS A 4420による

22. 旗竿

形式	材種	高さ(m)	操作方法	固定方法
・テーパー式 ・同一断面式	・アルミニウム合金製		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式

23. 旗竿受金物

材種 ステンレス製(SUS304)

24. 車止めさく

形式	材質	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)
・上下式鎖内蔵式	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス	

25. フェンス

フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス
・樹脂塗装メッシュフェンス
・鋼管フェンス
・アルミフェンス
高さ ・図示

26. プレキャスト
コンクリート

[20.3.3~4]
コンクリートの設計基準強度
※ 水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m3を満足する調合強度
・図示
配筋
※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する
・図示
取付方法 ・図示

27. 間知石及び
コンクリート
間知ブロック
積み

[20.4.2~3]

材種		種類	質量区分	備考
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	—	—	
・コンクリート間知ブロック	—		・A ・B	

積み方 ・谷積み ・布積み 目塗り ・図示
伸縮調整目地 (材種 ・図示 厚さ ・図示)

(3節.ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ工事)
1. 窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ工事

ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ材 (19.3.2)

種類	形状	働き長さ 働き幅	厚さ(mm)	表面仕上げ	耐凍害性能	防火耐火性能	備考(参考品番)
・木目 ・棚引き	・横	3030 455	・16	・塗装品 ・	有	有	・EPC-242 ・EPA3812

・コーナー役物 同材 サイズ 80×80
ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞの張り方 ・縦張り ・横張り
通気胴縁 樹種 ※杉 ・ひば 寸法 ・図示 ・
防露処理 ・行う ・行わない
現場塗装用ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞのの下地処理、仕上 ・図示 ・
建具上部の雨水排水路 設置位置等 ※図示 ・
金具留め工法で風速Voが42m/m2を超える地域の補強方法 ・図示 ・

2. 複合金属ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ工事

ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ材 (19.3.3)

種類	形状	有効幅(mm)	長さ(mm)	厚さ(mm)	表面材 芯材の種類	防火 耐火性能	備考 (参考品番)

ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞの張り方 ・縦張り ・横張り
通気胴縁 樹種 ※杉 寸法 ・図示 ・
防腐処理 ・行う ・行わない

20 排水工事 [公共建築工事標準仕様書2.2章]

1. 屋外雨水排水

(適用範囲)
この章は、構内の屋外雨水排水工事並びに街きょ、縁石及び側溝等を設置する工事に適用し、この章に規定する事項以外は、「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」21章「排水工事」による。
[21.2.1~2][表21.2.1~2]
材料

材種	管の種類	形状	呼び径	備考
・遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管 (1種)	・B形管	・図示	
・硬質ポリ塩化ビニル管	・VP ・VU ・RS-VU		・図示	

基床の厚さ及び種類 ・図示
排水桝の種類 ・図示
砂の粒度試験 ・行わない ・行う
側塊の形状及び寸法 ・図示
ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ・接着剤

21 鋼製下地工事 [公共建築工事標準仕様書2.2章]

(適用範囲)
この章は、主として構内の舗装工事に適用し、この章に規定する事項以外は、「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」22章「舗装工事」による。
[22.2.3~5][表22.2.1]

1. 路床

盛土用材料 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥より再生した処理土 G
凍上抑制層 ・再生クラッシャラン ・クラッシャラン ・切り込み砕石 ・砂
フィルター層 ・砂
路床安定処理 ・添加材料による安定処理
種類 ・普通ポルトランドセメント
・高炉セメントB種 G
・フライアッシュセメントB種
・生石灰( )
・消石灰( )
添加量 ・ kg(目標CBR ・3以上 ・)
・ジオテキスタイル
単位面性質量 ・60g/m2以上 厚さ ・0.5~1.0
引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm)以上
透水係数 ・1.5×10^-1 cm/sec 以上
試験 砂の粒度試験 ・行う ・行わない
路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ・行わない
路床締固め度試験 ・行う ・行わない
現場CBR試験 ・行う ・行わない

2. 路盤

路盤材料 ・共通仕様書表22.31により、図示による
路盤締固め度の試験 ※行う ・行わない

3. アスファルト
舗装

[22.4.2~6][表22.4.1~4]
アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示
アスファルト ・再生アスファルト G ・ストレートアスファルト
加熱アスファルト混合物の種類

表層		
	・一般地域	・密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)
	・寒冷地域	・密粒度アスファルト混合物(13F)

シールコートの施工 ・行う ・行わない
試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない
舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度

4. コンクリート
舗装

[22.5.2~4][表22.5.1~3]
コンクリート舗装の構成及び厚さ

舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)
コンクリート舗装	車庫及び駐車場	・図示	・図示
	歩行者用通路	・図示	※70

早強セメント ・使用する ・使用しない
注入目地材料の種別 ※ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ
縁部立下り寸法等 ・図示
舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度

5. カラー舗装

カラー舗装の構成及び厚さ [22.6.2~5]

舗装の種類		部位	構成	厚さ(mm)
・加熱系	・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物	・車路 ・歩行者用通路	・図示	・図示
・常温系				

常温系カラー舗装の着色部の下地
・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装
加熱系混合物に添加する材料
・着色骨材( ) ・自然石( )
配合 結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量
(・)
ニート工法及び塗布工法の配合等
(・)
舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度

6. 透水性
アスファルト
舗装 G

[22.7.2~6]
構成 ・図示
材料 骨材 ・道路用砕石
・アスファルトコンクリート再生骨材 G
試験 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験
・行う ・行わない

7. ブロック系舗装

・コンクリート平板舗装 [22.8.2~4]

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考
※普通平板(N) ・透水平板(P)	※300角	※60	※砂 ・モルタル	表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し

普通平板は G 再生材料を用いた舗装用ブロック)、透水性平板は (透水性 G コンクリート)とする。
仕上り面の平たん性
※歩行に支障のないものとし、コンクリート平板間の段差3mm以内とする。

鋳鉄製ふた [21.2.1]

名称	種類	適用荷重	鍵	県章	備考
鋳鉄製ﾏﾝﾎｰﾙふた	・水封形 ・簡易密閉型 (ﾊﾟｯｷﾝ式) ・密閉型 (ﾁｪﾝﾊﾞ・ﾊﾟｯｷﾝ式) ・中ふた付き密閉型 (ﾁｪﾝﾊﾞ・ﾊﾟｯｷﾝ式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・有 ・無	・有 ・無	左記以外の品質等は(公社)空気調和衛生工学会 SHASE-S209による

ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ [21.2.1]

種類	形式	用途	適用荷重	ﾒｲﾝﾊﾞｰﾋﾟｯﾁ	垂鉛めっき(付着量)	上面形状
・鋳製	・受枠付き ・ﾎﾞﾙﾄ固定	・溝ふた(側溝用)	・歩行用	・細目	・( )	・凹凸形
		・溝ふた(側溝用) ・桝ふた用 ・U字溝用	・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・普通目 ・細目	・( )	・平形
・ｽﾃﾝﾚｽ製	・ﾎﾞﾙﾄ固定	・溝ふた(側溝用)	・歩行用	・細目	・( )	・凹凸形
		・溝ふた(側溝用) ・桝ふた用 ・U字溝用	・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・普通目 ・細目	・( )	・平形

8. 砂利敷き

9. 路面標示用塗料

・インターロッキングブロック

種類	部位	形状	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm2)	備考
※普通ﾌﾞﾛｯｸ(N) ・透水ﾌﾞﾛｯｸ(P)	車路	・図示	※80	※5.0	色彩、表面加工 ・標準品
※普通ﾌﾞﾛｯｸ(N) G ・透水ﾌﾞﾛｯｸ(P) G	歩行者用通路	・図示	※60	※3.0	

普通平板は G 再生材料を用いた舗装用ブロック)、透水性平板は (透水性 G コンクリート)とする。
仕上り面の平たん性
※歩行に支障のないものとし、コンクリート平板間の段差3mm以内とする。

・舗石舗装

種類	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	施工方法	基層	基層の厚さ(mm)
・小舗石 (花崗岩)	・図示		・うろこ張り	・コンクリート版 ・アスファルト混合物	※70 ※50

仕上り面の平たん性
※歩行に支障のないものとし、コンクリート平板間の段差3mm以内とする。

・ジオテキスタイル
単位面積質量 ・60g/m2以上 厚さ ・0.5~1.0
引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上
透水係数 ・1.5×10 ^-1 cm/sec以上
[22.9.2]
種別 ・A種(施工範囲:・図示 ・通路 ・)
・B種(施工範囲:・図示 ・建物周囲他 ・)

路面標示用塗料はJIS K 5665による。

種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)
※3種1号	溶融	粉体状	・白	・150 ・100	・1.0
・1種 G	常温	液状			
・2種 G	加熱				

G 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料

22 植栽工事 [公共建築工事標準仕様書2.3章]

(適用範囲)
この章は、樹木、芝張り、吹付けは種及び地被類の植栽工事に適用し、この章に規定する事項以外は、「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」23章1節「一般事項」から4節「芝張り、吹付けは種及び地被類」までによる。

1. 植栽地の
確認等

水素イオン濃度(pH)試験 ・行う ・行わない [23.1.3]
電気伝導度(EC)試験 ・行う ・行わない

2. 植栽基盤の
整備

[23.2.2~4]

樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	整備範囲	工法
・12以上	※100 ・120 ・150	・葉張り部分	※ A種
・7~12	※ 80 ・100	・植栽部分	・ B種
・3以上~7未満	※ 60 ・ 80	・図示	・ C種
・3未満	※ 50 ・ 60		・ D種
・芝、地被類	※ 20	・植栽部分 ・図示	※ B種

植栽基盤の排水設備 ・設ける (※図示 ・)
・設けない

土壌改良材 ・パーク堆肥 G [23.2.3]
施工箇所 ※植栽範囲 ・図示
使用量 植栽基盤面積1m2当たり(・50L ・)
・汚泥発酵堆肥(下水汚泥コンポスト) G
施工箇所 ※植栽範囲 ・図示
使用量 植栽基盤面積1m2当たり(・10L ・)
材料 「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、食害試験の調査の結果、害が認められないものとする。

[23.2.3]
植込み用土 ※ 現場発生の良質土 ・ 客土

3. 植樹

[23.3.2~3]
樹種、寸法、株立数等 ※図示
幹巻き用材料 ※幹巻き用テープ ・わら及びこも
支柱 材料 ※丸太(間伐材) ・真竹
防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材
形式 ・図示
支柱の形状
・ 添え柱形 ・ 鳥居形 ・ ハツ掛け形 ・ 布掛け形 ・ ワイヤ掛け形 ・ 地下埋設形

4. 芝

[23.4.2~3]
種類 ※ コウライシバ ・ノシバ ・
芝張りの工法

平地	※ 目地張り	・ べた張り
法面	・ 目地張り	※ べた張り

5. 吹付けは種

種子の種類 ※洋芝類(採取後2年以内) ※発芽率80%以上 [23.4.2]
種子の量(・ g/m2)

10. 新植、移植樹木
芝等の枯補償

※ 引き渡しの日から1年 ・無し [23.3.4~7]

参考資料

木材面の品質

日本農林規格(JAS)
材面の品質の基準についての概要 抜粋

区分	無節	上小節	小節
節	ないこと。	広い材面を含む1材面以上の材面において、節の長径が10mm(生き節以外では5mm)以下で、材長2m未満にあっては4個(木口の長辺が210mm以上のものは6個)以内であること。	広い材面を含む1材面以上の材面において、節の長径が20mm(生き節にあっては10mm)以下で、材長2m未満にあっては5個(木口の長辺が210mm以上のものは8個)以内であること。
腐朽・虫穴髄心	ないこと。	同左	同左
材面の貫通割れ	ないこと。	同左	同左
材面の短小割れ	割れの長さの合計が材長の5%以下であること。	割れの長さの合計が材長の10%以下であること。	同左
欠け、きず穴、入り皮やにつぼ	ないこと。	極めて軽微であること。	軽微であること。
変色、あてかび、その他の欠点	極めて軽微であること。	軽微であること。	顕著でないこと。

H29.6

・特記事項

株式会社 中居都市建築設計
nakai architecture design Co.,ltd
岩手県盛岡市南大通二丁目1-20 TEL 019 - 654 - 2311

PROJECT	SCALE	管理建築士	構造設計		
永井保育園大規模改修工事		一級建築士(建設大臣)登録168463号 平谷 伸吾			
TITLE	DATE	建築士事務所登録	検図	DRAWING	SHEET NO.
特記仕様書-5	2018.09	一級建築士事務所(岩手県)知事登録 第え(2212)1272号			A-05